

にかけて、本州付近に停滞した梅雨前線に向
 かって暖かく湿った空気が流れ込んだため、
 九州北部を中心に大雨となりました。この大
 雨により、熊本県の阿蘇地域では土石流や崖
 崩れが多発し、死者、行方不明者二十五人が
 生じるなど大きな被害となりました。低気圧
 や台風前線などによって積乱雲が同じ場所
 で次々と発生、発達を繰り返して、数時間で百
 ミリから数百ミリという大量の雨を狭い範囲
 に降らせるることがあります。このような雨の
 様子を「集中豪雨」といいます。しかしなせ
 日本では土砂災害が多くの国で
 日本は世界でも有数の土砂災害の多い国で
 もあります。土砂災害の発生件数は、年によ
 ってかなりばらつきがありますが、土石流・
 地すべりがけくずれを合わせて平均すると
 年に千件くらりの土砂災害が発生しています
 日本に災害が多いのは、日本列島の地形や地
 質・気象などの自然条件に大きな原因があり
 ます。また日本には山地が多く、平地が少な
 いため、

国工の五十パーセントが積雪地帯です。特に
 多いのも土砂災害の起こる理由です。日本は
 はいろと思えます。雪が多かったり火山が
 風の雨や地震などが一般的だと思ったり
 十個ほどの台風が上陸してきます。今まで台
 らすこともあります。日本には平均的に年に
 らせることに加えて、雨や高潮の被害をもた
 節に起きやすいです。なお、台風は大雨を降
 降るのではなく、梅雨や台風、秋雨などの季
 す。しかも日本の雨は、一年を通じて平均に
 七十ミリであり、その多さが分かると思いま
 均雨量は約千七百ミリ、世界の平均は約九百
 多くの雨が降る国でもあります。日本の年間平
 の一つは雨です。日本は他の国と比べて特に
 土砂災害を引き起こしてしまいう大きな原因
 しまう最も理由はなんなのでしよるか。
 困でもありません。でも、土砂災害で起
 ても、それも土砂災害で大きな被害がでる原
 の起りやすい場所にもたくさん人が住ん
 いために、山の斜面や谷の出口など、土砂災害

本州や北海道の日本海側は、世界中
 がたくさん降る地域です。もちろ
 んに雪がたくさん降る国は少な
 くありません。どの国も雪が多
 い町があまり人々がたくさん住
 んでいません。日本では豪雪地帯
 の工砂災害の被災を受けるとも
 多くなり、また火山の噴火は火
 砕流、泥流などを発生させるだけ
 なく、噴火が終わった後も降り積
 むた火山灰が原因で土石流が起
 きたりします。前から窓
 のような災害が起きてしま
 う前に、必要に応じて
 や雨戸はしっかりとカギをしめ
 たり、側溝や排水口は掃除して
 水をよく流して、おいたり家
 の外の備えをしておか
 り、非常用品である懐中電灯、
 ラジオ、衣類、ボシベ式コ
 ンロ、貴重品などを保持し、た
 かを確認し、生活できる様に
 生活用水を

を確保しておくことも大事です。他にも
 避難場所のはあくや、持って行く物の確認もと
 ても大切なことだと思います。
 いっどこで起こるか分からない災害。もし
 逃げ切れなかつたら、何の心配事を考えず、
 いっでも避難できる体制をつくり、家族の命
 友達の命、そしてもちろん自分の命が無事な
 様に事前から準備をしてほしいとみなさんに
 伝えたいと思います。